

令和7年度 事業計画書



経営理念

- ・能力が発揮できる楽しい職場環境を創ります
- ・新しい発想で持続可能な福祉社会の実現に貢献します
- ・愛あるサービスを提供し、利用者と共に歩みます
- ・成長への勇気と情熱をもって新たな価値に挑戦します

社会福祉法人 こもはら福祉会

目 次

総合的な目標	1
(1) 経営戦略	
(2) 重点取組項目	
組織図・研修計画	2・3
第1 はなの里	4
(1) 特別養護老人ホーム	4
(2) ショートステイ	5
(3) 老人デイサービス	6
(4) 居宅介護支援事業所 -はなの里-	7
(5) ケアハウス	8
第2 はなの里	9
(1) 特別養護老人ホーム	9
(2) ショートステイ	10
(3) 老人デイサービス	11
(4) 居宅介護支援事業所 -和み-	12
(5) ケアハウス	13
第3 はなの里	14
(1) 特別養護老人ホーム	14
(2) ショートステイ	15
第4 はなの里	16
(1) サービス付き高齢者向け住宅(百合ヒルズ)	16
(2) 訪問介護事業所(ヘルパーステーション) ゆり	17
第5 はなの里	18
(1) 特別養護老人ホーム	18
(2) ショートステイ	19
障害者支援施設	21
グループホーム (1) はなの里	23
(2) 新	24
多機能ホーム (1) はなの里	25
(2) ゆ り	26
つつじが丘 老人デイサービス・グループホーム(サテライト)	27
認定こども園	29
(1) 西田原こども園	29
(2) ききょうこども園	31

総合的な目標

(1) 経営戦略

名張市においても少子高齢化の流れは顕著であり、人材不足や保育園児の減少等、当法人の運営面にも影響が出始めています。高齢者にとっては、2025年問題への対応として、現状のサービス内容が団塊世代高齢者の求めに答えられるかを早急に把握し、サービスの再構築が必要となっています。また、こども園として、社会の変化に呼応できる就学前教育・保育のあり方を具体化し、選ばれるこども園経営への意識を強くしていかなければなりません。

令和6年度は、第1はなの里の設備改修、西田原保育園の新築移転及び桔梗が丘保育園を含めた保育園の認定こども園への移行準備など、今後の法人運営を継続して発展させるために必要な投資と準備に力を入れました。今年度も引き続き、ソフト面との兼ね合いを含めて、事業運営に不可欠な設備投資や改修について優先順位を明確にし、対応していきます。

福祉職場での就労は、社会的な役割など他職種とは一線を画すものであることの理解を促し、これに答えられるやりがいや処遇面での対応も考慮していく必要があります。働き方改革の一環として、介護では週休3日制を導入するとともに、外国人採用の実績を踏まえ、さらに優秀な人材を登用していきます。

また、生産性向上面では新たな機器の導入等により、間接業務の負担軽減が図れるよう活用実績を把握して、対人サービスの質の向上を優先させ、利用者の満足度を上げていかなければなりません。

設立から25年の歳月を重ね、社会福祉法人を取り巻く経営環境も厳しさを増すなか、経営面では、利用者の満足度に呼応して収益が増加し、さらにその満足度を引き上げるためのサービスが十分に提供できるよう、検討を重ねるとともに、現実的な物価高騰対策等の課題にも対応していきます。

現時点での経営状況は良好といえますが、現状に満足せず、再生産に向けた取り組みに尽力し、職員満足度に比例しての付加価値を生み出すことで、円滑な運営管理が行える環境を維持します。

(2) 重点取組事項

① 法人組織の強化・見直し

- 内部監査・諸規程・マニュアル等に基づくコンプライアンスの強化
- 組織目的達成のため現有経営資源の効果的、効率的活用
- 介護ロボット・ICT機器の積極的活用によるサービス及び生産性の向上

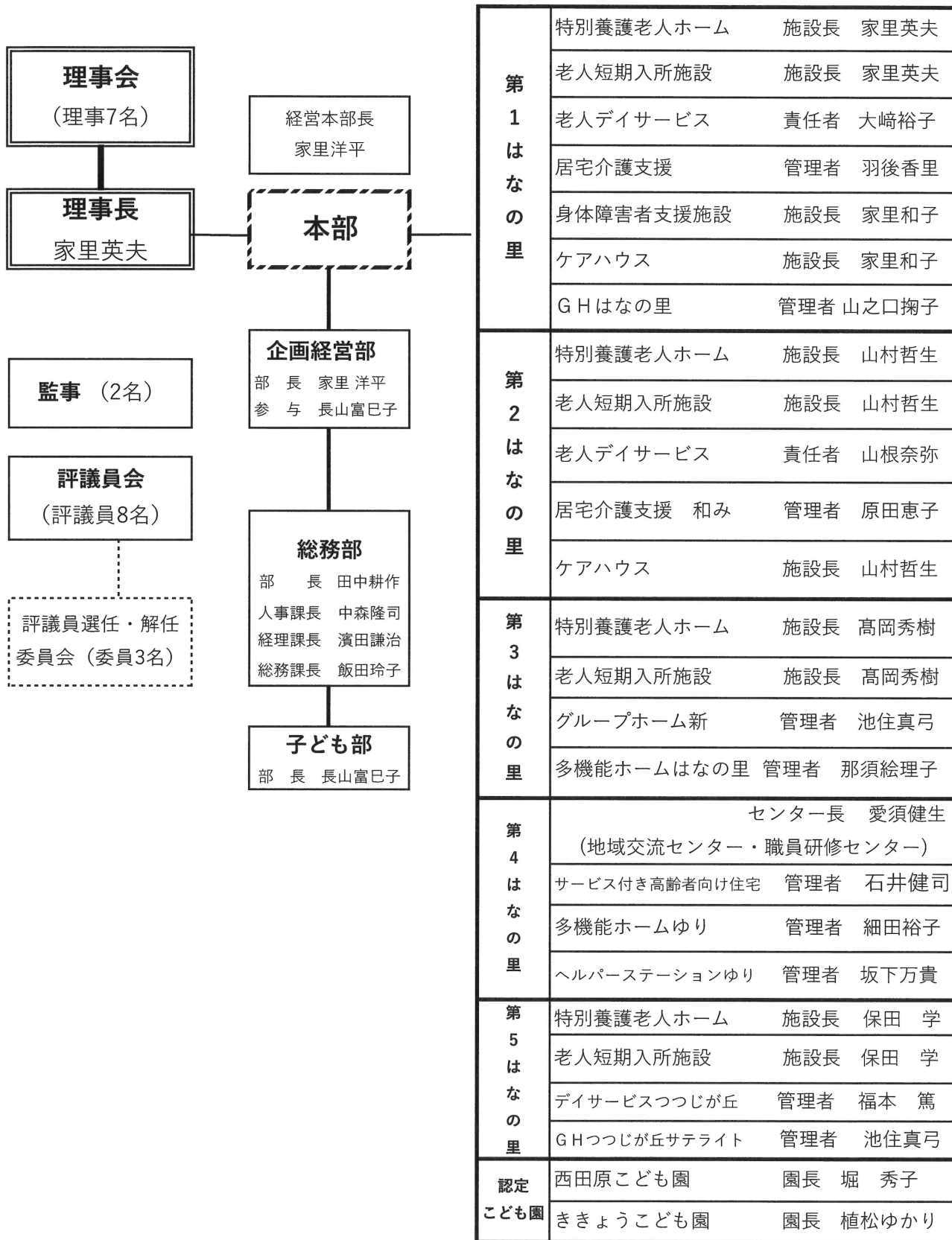
② 地域との共創

- 地域福祉と連携・協働して社会資源の開発による地域社会の課題解決
- 共創社会実現に向けた役割分担と連携体制の可視化
- 災害時に備えた地域のコミュニティづくりとの連携
- 地域における公益的な取り組みの充実

③ 人材(財)の確保と育成・働き方改革（時代に合った働き方）

- 仕事の充実と家庭生活の両立支援（子育てや介護との両立・副業の積極的許可）
- 連続(リフレッシュ)休暇・有給休暇12日以上(または60%)取得の奨励
- 障害者雇用にかかる合理的配慮と雇用率引上げを視野に入れた達成の継続
- 職員が働きやすく、能力が発揮できる仕組みづくり
- 国家資格取得支援の継続（取得費用の助成や研修受講機会の提供）
- 研修の充実
- 週休3日制(1日の勤務時間を10時間として、週に3日休暇)の導入

こもはら福社会
組 織 図(令和7年4月1日)



令和7年度 研修計画 ★ 受講後のフォロー強化 ★

研修名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
階層別研修 (一般層)	日程	1日	14日	11日	9日	13日	10日	8日	12日		7日	11日	11日
	時間	10:30-17:30	8:30-17:30	8:30-17:30	8:30-17:30	8:30-17:30	8:30-17:30	8:30-17:30	9:00-11:30		8:30-17:30	8:30-17:30	8:30-17:30
	内容	新卒	常勤介護職①	正職①	新卒	正職②	常勤介護職②	正職③	常勤介護職③		常勤介護職④	常勤介護職⑤	常勤介護職⑥
	講師												
	会場	第3はなの里	内部講師	内部講師	内部講師	内部講師	内部講師	内部講師	内部講師		内部講師	内部講師	内部講師
階層別研修 (指導・管理層)	日程	23日	21日		23日		17日						
	時間	8:30-12:30	8:30-17:30		8:30-17:30		8:30-17:30						
	内容	係長・管理者	サブリーダー		リーダー		主任・副主任						
	講師	内部講師	内部講師		内部講師		内部講師						
	会場	かのとうホール	かのとうホール		かのとうホール		かのとうホール						
テーマ別研修 (介護部門)	日程												
	時間												
	内容	ICT機器活用	介護技術	アンガーマネジメント	看取り	ICT機器活用	腰痛予防	感染予防	緊急時の対応	看取り	介護技術	記録の書き方	口腔ケア
	担当研修委員	第3	第2	第1	第5	第3	第2	第1	第5	第3	第2	第1	第5
	講師	外部講師	内部講師	内部講師	内部講師	内部講師	外部講師	外部講師	内部講師	内部講師	外部講師	外部講師	内部講師
(こども園部門)	会場												
	全体研修												
	階層別研修	初任者研修	主任・副主任研修	中級者研修									
	園内研修	※毎月実施	障害児保育	ICT活用研修	障害児保育	性虐待研修	障害児保育	ICT活用研修	障害児保育	性虐待研修	障害児保育		
		※その他	乳児保育研修	乳児保育研修	乳児保育研修	異年齢保育研修	安全対策研修	(リスクマネジメント)	人権同和保育研修				
			BCP研修	虐待防止研修	食育研修	食育研修	身体づくり研修	保育環境研修					
	外部研修	発達支援研修	保育総合研修	救急救命講習		保健研修			発達支援研修		人権同和研修	発達支援研修	
		※随時	キャリアアップ研修	コードモンZoom	公開保育研修	小学校校接統研修	BCP研修等						
	園・自己評価	一言目標だて	自己評価 (内容検討)				一言目標 (自己評価)					自己評価 園評価まとめ	園評価公表 自己評価 振り返り
		※ICTの活用等により、どの職員も積極的に受講できるよう工夫する。											
介護福祉士 実務者研修	日程				16日・30日	20日	3日・17日	15日・16日					
	時間				時間：8:30-17:30	内容：実務者研修							
	内容				講師：ユマニテック医療福祉大学校	会場：研修センター							
介護支援専門員 受験対策講座	日程	16日・23日	13日・20日	17日・24日	22日・29日	12日・19日							
	時間				8:30-17:30								
	内容				ケアマネジャー合格講座								
異職場体験	日程				講師：福祉の大原	会場：第3はなの里							
	内容				7月1日から9月30日まで	体験内容に応じる							
		※研修形態は、感染症の発生状況に応じて対応する。 (動画視聴・少人数グループ討議・資料配布研修など)											
		各事業所において責任者の指示のもとに行う。											

第1はなの里 事業計画

■ 特別養護老人ホーム (50 床) ■

基本方針	法人の基本理念である「愛あるサービスを提供し、利用者と共に歩みます」に基づき、利用者一人ひとりの生き方(価値観)が尊重される日常生活を支援し、安心かつ満足して暮らしていただくことのできる施設運営に努めます。
運営の目標	① 利用者の意思を尊重した丁寧な声かけによる介護を提供します。 ② 各種マニュアル(身体拘束廃止・事故防止・虐待防止・苦情受付・感染対策・災害対策など)に基づき、実践に即した研修や訓練を定期的実施し、入居者や職場の安全を確保します。 ③ 個別サービス計画(施設サービス計画、栄養ケア計画、褥瘡マネジメント計画)を多職種協働で策定し、計画に沿ったサービスを提供します。 ④ 入居者が充実した生活を送れるよう、家族や地域との交流を大切にします。 ⑤ 嘱託医や協力病院等、多職種協働にて、利用者が安らかな時間を過ごせるよう寄り添い、看取りケアを提供します。 ⑥ 福祉用具、介護ロボット・ICTを有効活用することで働きやすい職場づくりに取り組み、サービスの質の確保及び職員の負担軽減に取り組みます。 ⑦ 季節に応じた年間行事の開催や外出支援、四季を感じられる行事食を実施し家庭的な雰囲気づくりと食の楽しさを提供します。 ⑧ 新規入所者の受け入れは、重度要介護者(要介護4・5)を中心とし、日常生活継続支援加算の算定を継続します。 ⑨ 居宅介護支援事業所、福祉事業所等との連携を図り、地域ニーズを把握してスムーズな入所につなげ効率的な運営を図ります。
年間行事予定	季節を感じてもらえる行事を各フロアで実施します。 (お正月、節分、節句、七夕、夏祭り、敬老祝賀会、クリスマス会) こども園児等の来訪、音楽療法、ボランティアによる演芸等の受け入れをします。
実習生受入予定	福祉人材の育成も社会的使命と考え、その設備や実習指導資格者、職員等の機能を活用し、各種養成機関等の要請に応じ、実習生を受け入れます。
職員研修	オンラインを主とした外部研修に参加するとともに、キャリアアップや資格取得に向けた啓発や助言、指導、勤務調整等により、職員を支援します。 自己研鑽のための研修を開催し、職員のスキルアップやモチベーションの向上に取り組みます。

ショートステイ (20 床)

基本方針	法人の基本理念に基づき、在宅生活を支える介護サービスとして、安全な環境のもと、利用者の生活習慣に沿ったケアを実施し、快適に楽しく利用いただける雰囲気づくりをめざします。また、家族との連携を大切にし、介護負担軽減や不在時の介護の肩代わり等、家族の生活も支援しながら利用者本人のニーズに沿ったサービスを提供します。
運営の目標	① 自宅等で生活されている要介護状態の方に、介護保険法で定める（介護予防）短期入所生活介護サービスを提供し、心身機能の自立と日常生活の自立を支援します。 ② 感染症の予防及びまん延の防止に取り組み、利用者の受け入れを行います。 ③ 余暇活動の充実、季節感が感じられる行事等への参加で活動的に過ごしていただき、精神面、身体面での機能維持を目的とした支援を行ないます。 ④ 一人ひとりの生活習慣を適切に把握し、過ごしやすい、安心できる居室環境を整えます。 ⑤ 家族、関係機関との連携を図り、利用者、家族が安心して在宅生活が送れるよう関わらせていただきます。 ⑥ 特別養護老人ホーム(以下「特養」という。)と連携し福祉用具、介護ロボット・ICTを有効活用することで働きやすい職場づくりを心がけ、サービスの質の確保及び職員の負担軽減に取り組みます。 ⑦ 地域の居宅介護支援事業所に空き情報を常に提供し、介護支援専門員(以下「ケアマネジャー」という。)による申し込みをより容易にすることで、地域ニーズに迅速に対応していきます。 ⑧ 地域のケアマネジャーや地域包括支援センターとの連携を密にし、居宅サービス計画にない緊急ショートステイを積極的に受け入れるほか、家族の急病や家庭の事情等による緊急要請に応えます。 ⑨ 特養の併設施設として、本体施設同様に経営基盤の強化と健全経営を推進します。 ⑩ 看護体制加算Ⅲ・Ⅳを引き続き算定できるよう要介護3以上を中心に受け入れます。 ⑪ 特養の入院、退所枠を含むショートステイ稼働率を毎月90%以上、年間平均90%以上を目標とします。 (令和 7 年 2 月末までの実績稼働率 89.9 %)
年間行事予定	特養との一体事業所につき特養行事に準じる。
職員研修	特養との一体配置につき、特養と同じ

■ 老人デイサービス (40 名) ■

基本方針	1. 利用者に在宅生活を維持・継続していただくため、ケアマネジャーとの連携を密にし、利用者や家族の思いを大切にした支援を行い、利用者の心身機能の維持、生活の質の向上、認知症の予防並びに家族の介護負担の軽減を図ります。 2. 職員が働きやすい環境を整えて人材確保に努めます。また、職員の介護技術の向上・育成により専門性を高め、サービスの質の精度を高めていきます。 3. 変化する社会情勢を踏まえた柔軟な対応に心掛け、効率的な運営を目指します。介護保険制度など法改正に対して適切に対応し、事業継続計画 (BCP) への取組みにより新型コロナウイルス等の感染症や自然災害等への予防・対策に努めます。
運営の目標	① 利用者の自主性を尊重しながら、一人ひとりに合った支援を行うことにより、信頼と安心のできるサービス提供に努めます。また、ニーズやクレームに対して柔軟に対応します。 ② 運動機器を使った個別の運動及び全体体操・レクリエーションを用いて利用者の体力・健康の維持に努めます。 ③ 居宅介護支援事業所と連携し、利用者や家族のニーズを十分に踏まえたサービスの提供を目指すとともに、新規利用者の受け入れを適切に行います。 ④ 月平均利用者数 670 人、平均稼働率 85% を目標に健全な運営体制を整えます。 ⑤ 収支のバランスを踏まえ、利用者数と職員数の適正値を図りながら、必要に応じて目標数値の変更を適宜行い、適切な人員配置と効率的な業務遂行により働きやすい職場環境を整備します。 ⑥ 感染症の予防・対策に努め、医務室と連携して適切な対応を行います。
年間行事予定	利用者に季節を感じていただけるような行事を計画・実施し、利用者間や職員との交流によって気分転換を図っていただく機会を提供します。また、感染症の流行や職員配置等の状況に応じて、ボランティアの受け入れやドライブ等の行事を検討します。
実習生 受入予定	各種養成機関等の要請に応じ、法人の規程に従い、実習生等の受け入れをします。
職員研修	職員の資質向上やモチベーションの維持のために自主的な研修が継続できるよう学ぶ機会を作ります。また、健康増進を図ることに努めるとともに職員の資格取得を支援し、サービスの質の向上を目指します。

■ ■ 居宅介護支援事業所 ーはなの里ー ■ ■

基本方針	利用者や家族、地域の人々に信頼され期待される、社会的評価の高い事業所となります。
運営の目標	① 要支援・要介護状態の方が可能な限り自立して居宅で生活できるように、心身の状態や環境に応じた、適切で中立・公正な介護サービスが提供されるよう配慮し、専門性に基づいた事業運営を行います。 ② 特定事業所加算取得事業所として、積極的に支援困難ケースを受け入れるため、常に名張市地域包括支援センターとの連携を図っていきます。 ③ 「居宅介護支援事業所第2はなの里-和み-」との連携を図りつつ、事例検討会や情報の交換を行い、相乗効果が発揮できるように努めます。 ④ 特定事業所加算の算定基準が常に満たせる体制の確保を目標とします。 ⑤ 利用者の最も近くで介護ニーズの現状を把握している事業所として、法人在宅介護サービスの新たな展開に向けてのアドバイス等、連携の強化に努めます。 ⑥ 事業所における業務継続計画（BCP）・虐待防止・感染症対策の取り組みのための研修及び訓練を定期的実施し、安定した事業運営を目指します。
年間行事予定	・ 担当地区のサロンや公民館が主催する活動に協力 ・ 介護支援専門員実務研修としての実習生受け入れ ・ 異職場体験の受け入れ
職員研修	*利用者に関する情報・サービス提供にあたっての留意事項の伝達等を目的とした会議を週1回以上開催 *その他以下の研修に参加し、介護支援専門員の資質向上に努めます。 ・ 名張市主催の介護支援専門員研修、会議 ・ 三重県主催の介護支援専門員更新研修 ・ 名張市地域包括支援センター主催の介護支援専門員研修 ・ 名張市福祉子ども部介護・高齢支援室主催の事業所連絡会会議、研修会 ・ 名張市・伊賀市主催の多職種連携研修 ・ 名張市在宅医療センター主催の研修 ・ 他法人のケアマネジャーとの意見交換会及び事例検討会に参加 ・ 三重県・県社会福祉協議会等主催の研修会 ・ 施設内研修 ・ 名張市生活圏域による介護支援専門員会議・研修 ・ 介護支援専門員の資質向上に資する研修（オンラインセミナー等） ・ 名張市主催の地域ケア会議（オンラインの場合あり）に参加 *法人内で事例検討を主催し、法人内事業所全体の資質の向上をめざします。

■ ケアハウス （定員 20 名） ■

基本方針	健康で心豊かな生活を送るための環境を提供します。また、日常生活を快適に過ごせるよう創意工夫を図ります。
運営の目標	1. 生活課題や身体状況に応じた支援を提供します。 2. 健康で活動的な生活が営めるよう支援します。 3. 入居者間で円滑な関係が築ける環境を構築します。 4. 経費について効率的な執行を心がけ安定した運営を図ります。 5. 入居生活に不安がある利用者に対して、家族との連携強化に努め、適正な介護サービスの利用に向けた支援を行います。 6. 感染予防に万全を期します。
年間行事予定	<u>事業</u> ・体操（昼食前に沖縄民謡体操・リハビリ体操の実施） ・買い物支援（移動販売の利用 10 回/月） <u>行事</u> ・季節行事（夏祭り・敬老会・クリスマス等） ・健康診断の受診・避難訓練への参加 ・お楽しみ昼食会の実施
職員研修	福祉施設に従事する職員として、資質向上及びモチベーション維持のために必要とされる研修に、内外を問わず積極的に参加するよう努めます。

第 2 はなの里 事業計画

◆ 特別養護老人ホーム (50 床) ◆

基本方針	「笑顔で共に生きる」施設を目指します。
運営の目標	① 入居者一人ひとりが「その人らしく」生活できるようニーズに応じた質の高いチームケアを実践し、空床数の減少に努めます。 ② 入居者が健康で穏やかな生活が継続できるよう嘱託医、看護師、ケアマネジャー、管理栄養士等と連携し、体調管理と事故防止に努め、入居者や家族が安心できるケアに努めます。 ③ 事業所における業務継続計画（BCP）への取り組み強化のための研修及び訓練を定期的実施し、安定した事業運営を目指します。 ④ 人員配置を含め、働きやすい職場環境を整備するとともに、次期リーダーの育成に取り組めます。 ⑤ 「身体拘束廃止」「虐待防止」「感染予防」などの各種マニュアルに基づきリスク管理に努めます。 ⑥ 各種ハラスメントに対しては厳格な態度で臨み、明るい職場環境を整えます。 ⑦ ICT技術を新たに取り入れ、職員の負担軽減、および業務の効率性を高め、ケアの向上に努めます。 ⑧ 地域公益活動として、地域の防災訓練、清掃活動等に積極的に参加します。
年間行事予定	・ 昔から生活の中に浸透している季節ごとの伝統行事を大切にします。 (お正月、節分、節句、七夕、秋まつり、敬老行事、クリスマス会等) ・ 感染症対策を講じながらお楽しみ会やボランティアと協働して入居者が楽しめる行事(カラオケ、喫茶会等)を企画、実施します。 ・ ユニットの特性を生かしながら、行事を通して季節の移り変わりが実感できるように毎日の暮らしに変化や楽しみが持てる企画をし、実施します。
実習生 受入予定	福祉人材の育成も社会的使命と考え、国内だけでなく外国人技能実習生の受入れをおこない、専任教育担当を設けて即戦力となる人材を育成します。
職員研修	・ 研修委員を中心として職種の専門性を高める研修を計画、実施します。 ・ 職員の資質やモチベーションの向上のために、適切な研修への参加を促しオンライン研修を含め積極的な資格取得に取り組めるよう支援します。 ・ OJT チェックシートを活用して職員の技術向上を支援し、質の高いサービスを提供します。

◆ ショートステイ (30 床) ◆

基本方針	サービスの提供を通じて利用者・家族・職員の「笑顔の追求」に努めます。
運営の目標	① 在宅生活を支えるサービスの一環として、利用者と家族の生活習慣やニーズ、介護計画を基にしたケアを実施し、安全で快適な生活を送っていただける環境や雰囲気づくりをめざします。 ② 家族やケアマネジャーとの連携を大切にし、利用者の日常生活動作の低下や認知症等の予防を図りながら、急なサービス利用や様々なニーズに対応して家族の介護負担が軽減できるサービスの提供をめざします。 ③ 法人内各事業所及び居宅介護支援事業所との連携を密にし、様々なニーズに対応することで稼働率の維持・向上に努めます。 ④ 利用者の健康管理・事故防止に努め、利用者が健康で安全に過ごしていただく環境を整備し、感染症対策を含め医務室との連携を大切にしながら利用者の体調の変化に早期対応することで空床が出ないように努めます。 ⑤ 事業所における業務継続計画（BCP）の取り組み強化のための研修および訓練を定期的実施し、安定した事業運営を目指します。 ⑥ ショートステイ稼働率の目標は、特養の入院枠と退居枠も含めて毎月 90%以上をめざします。 ⑦ 福祉器具等の導入と ICT 技術の活用により、安全で快適な働きやすい環境づくりに努めるとともに、ケアの質の向上及び次期リーダーの育成に取り組めます。 ⑧ 各種ハラスメントに対しては厳格な態度で臨み、明るい職場環境を整えます。 （令和 7 年 2 月末までの実績稼働率 85.6%）
年間行事予定	- 施設内での生活に楽しみや生きがいを持ってもらえるよう、日常的なレクリエーションの他、調理やおやつ作り、書道等を実施します。 - 年間を通して利用者に季節を感じていただける行事を行い、コロナ禍のため減少していた外出の機会を増やし、日常生活動作低下予防の運動などを積極的に行います。 - 感染症対策を行いながら、外部との交流の機会が持てるように努めます。
職員研修	- 個々の専門性の向上や資格取得に必要な研修参加を支援します。 - 通信機器（web 研修等）を利用し、法人の全体研修以外にも独自に必要な研修を行います。

◆ 老人デイサービス (40 名) ◆

基本方針	◎ 利用者が自立した在宅生活を維持することができるよう、必要な日常生活上の支援及び運動や外出の機会の確保、交流の場の提供を行います。 ◎ 利用者の心身機能の維持、認知症の予防並びに家族の身体的、精神的な介護負担の軽減を図ります。
運営の目標	① 通信カラオケ機器を使用した各種リズム体操や、音楽療法、レクリエーションなど楽しみながら取り組める運動や交流の機会を提供することにより、日常生活動作が維持できるよう支援します。 ② 月ごとに季節を感じられる創作活動を実施し、手先を使うことによって認知症の予防を図り、個々の残存能力を引き出します。また、作品の展示により創作意欲の向上を図ると共に張りのある生活が送れるよう支援します。 ③ 各種関係機関や家族との連携を十分にとり、利用者の心身状況やニーズを把握して介護計画に添ったケアを実施し、安心して利用していただけるよう努めます。 ④ 市内居宅介護支援事業所(含:法人内支援事業所)と連携等を行い、利用者数の安定を図ります。 ⑤ 下肢筋力低下による転倒を予防するための運動等、個々に合わせた運動メニューを実施し、利用者の身体機能の維持を図ります。 ⑥ 職員数と利用者数の均衡を保ちながら、新規利用者を確保し、月平均利用者 690 人を目標に利用者数の増加に努めます。(令和 6 年 12 月末までの月平均利用者数 676 人) ⑦ 職員が心身ともに健やかに過ごせるよう、働きやすい職場環境の整備に努めます。 ⑧ 事業所における業務継続計画(BCP)の取り組み強化のための研修及び訓練を定期的実施し、見直しや検討を行い安定した事業運営を目指します。
年間行事予定	・季節に応じた行事 ・季節を感じられる創作活動 ・地域のボランティアとの交流 ・カラオケ ・音楽療法
実習生 受入予定	各種養成機関等の要請に応じ実習生の受入れを継続します。 名張市立看護専門学校 ほか
職員研修	・通所介護業務に従事する職員として、資質向上及びモチベーション維持のため、必要とされている研修を受講します。 ・オンラインセミナーなどを活用し、専門的な知識や資格取得のための研修の参加を支援します。 ・施設内研修への積極的な参加を促します。 ・入浴介助に関わる職員に対し、介助に関する研修を行います。

◆ 居宅介護支援事業所 ― 和み ― ◆

基本方針	利用者や家族、地域の方々に対し、迅速、丁寧に誠意をもって対応できる事業所であるよう努めます。
運営の目標	① 要介護状態になった利用者に対し、適切な介護サービスの提供が確保されるよう支援します。 ② 利用者が、可能な限り自立して自宅で生活できるよう、専門性に基づき事業運営を行います。 ③ 特定事業所加算取得事業所として、名張市地域包括支援センターとの連携に努めるとともに、支援困難ケースを積極的に受け入れます。 ④ 第Ⅰはなの里居宅介護支援事業所との連携を図り、事例検討会や情報交換を行い、全市的に受け入れます。 ⑤ 介護保険の改定に適切に対応するとともに、特定事業所加算の算定基準を満たす体制を維持します。 ⑥ 事業所における業務継続計画（BCP）、虐待防止、衛生管理の取り組み強化のための研修及び訓練を定期的実施し、安定した事業運営を目指します。
年間行事予定	① 地域との関係を深めるために、地域公益事業として、「地域住民とふれあう場」を年 1 回以上開催 ② 介護支援専門員実務研修に必要な実習生の受け入れ ③ 異職場体験の受け入れ
職員研修	○ 利用者に関する情報、サービス提供に当たっての留意事項の伝達、調整等を目的とした会議を週 1 回以上開催し、質の高いサービスの提供に努めます。 ○ その他下記の研修に参加し、居宅介護支援事業所並びに介護支援専門員の資質の向上に努めます。 ・名張市地域包括支援センター主催の介護支援専門員研修 ・名張市在宅医療支援センター主催の研修 ・三重県、県社会福祉協議会、介護支援専門員協会等主催の各種研修 ・錦生・赤目・箕曲・百合が丘・国津・つつじが丘・春日丘地域介護支援専門員（研修グループ 3）会議・研修 ・名張市主催の主任介護支援専門員研修、会議 ・他法人のケアマネジャーとの意見交換・事例検討 ・法人内事業所の事例検討会（2か月に 1 回） ・その他介護支援専門員の資質向上に資する研修 ・名張市・伊賀市主催の多職種連携研修

ケアハウス (30 名) ◆

基本方針	入居者が健康で安心して心豊かに生活を送るための環境を提供します。 また、その人の心身状態に応じた日常生活が過ごせるよう創意工夫を図ります。
運営の目標	① 入居者個々への目配り・気配りを十分に行い、対話の機会を十分に確保することで、個々の変化や悩み事等を把握し、早期対応により生活の質の維持・向上を図ります。。 ② 日々の関わりの中で入居者個々の体調を管理し把握することで、体調不良等の早期発見・対応に努めます。また、事故（転倒等）防止の啓発を継続して行います。 ③ 相談・助言等の援助、疾病・災害等緊急時の対応、余暇活動の支援等、入居者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように努めます。 ④ 加齢や疾病による身体機能の低下等により日常生活に不安がある入居者に対し、家族との連携を十分にとりながら適切な介護サービスの情報を提供し、サービス利用につなげる等、安心して入居生活が継続できるよう支援します。 ⑤ 事業所における業務継続計画（BCP）の取り組み強化のための研修及び訓練を定期的実施し、安定した事業運営を目指します。
年間行事予定	<u>事業</u> ・ 買物代行 （日常生活必需品については、月 2 回実施する。） ・ 移動販売 （「牛とら」とくし丸の移動販売（食料品）については、月 2 回実施する。） ・ 体操（基本月～金曜日まで歌・簡単なりハビリ体操・ラジオ体操・沖縄民謡体操） ・ 散髪（毎月最終の月曜日） <u>行事</u> ・ 季節行事（雛祭り・敬老会・クリスマス等） ・ 食事（お楽しみ昼食） ・ 普段あまりない他ユニット間の交流を目的としたセルフ喫茶 ・ 防災訓練・ケアハウス内での防災教室（4月・10月） <u>地域交流</u> ・ 百合ヒルズでの行事へ参加することにより、他者との交流の場を設ける。
職員研修	・ 福祉施設に従事する職員として、資質向上及びモチベーション維持のため必要とされる研修には、内外部にかかわらず積極的に参加するよう努めます。 ・ 老施協等主催のケアハウス関係研修の情報を得ながら専門性の向上に努めます。

第 3 はなの里 事業計画

● 特別養護老人ホーム (80 床) ●

基本方針	法人の基本理念に基づき、入居者の尊厳を守るとともに一人ひとりの希望やニーズに応じた日常生活を支援し、その人らしく笑顔で安心して暮らしていただける施設を目指します。
運営の目標	① 15人ユニット運営を効率的に稼働させ、業務や職員配置の合理化に努めます。 ② 余暇活動や外出支援等の充実に取り組み、笑顔でメリハリのある暮らしを提供します。 ③ 感染症の予防と蔓延防止に努め、感染症や災害発生時には業務が継続できる体制づくりや訓練を実施し、入居者や職員の安全を確保します。また、地域との協力・連携体制の整備に努めます。 ④ 居室環境を整え、面会時に家族と過ごす時間が有意義な時間になるよう支援します。 ⑤ ICT機器の有効活用をより推進させ、サービスの向上と業務の効率化を図ります。 ⑥ 看取り後の振り返りや研修により、入居者や家族が安心できるターミナルケアに努めます。 ⑦ ユニットの特徴を活かし、季節を感じる献立や味付けで家庭的な雰囲気をつくります。また、イベント食などで、食べるよろこび、食べる楽しみを味わってもらえるようにします。 ⑧ 地域活動への参加・協力により、近隣住民との良好な関係の構築に努めます。 ⑨ ボランティアの受け入れを積極的に行い、社会交流や楽しみのある時間を提供します。
年間行事予定	・各ユニットやフロアごとに季節を感じられる行事を行い、工作などのレクリエーションを通して他者との交流を図り生活に変化を与えます。 ・かのとうホールを活用した全体行事及び家族や地域が参加できる行事を開催します。
実習生受入予定	各種養成機関等の要請に応じ実習生の受け入れを継続します。
職員研修	1. 職場内 OJT のさらなる充実を図ります。 2. 職員としての資質や専門性向上のため、職務に応じた外部研修への積極的な参加を支援します。 3. 職員が資格の重要性を認識し、資格取得に向けた研修に取り組めるよう参加を推奨し助言していきます。

● ショートステイ (20 床) ●

基本方針	・地域の高齢者の在宅生活を支える介護サービスとして、法人の基本理念に基づき、利用者の生活習慣やニーズに沿ったケアの実現、安全で快適な生活を送っていただける雰囲気・環境づくりを目指します。 ・家族や介護支援専門員との連携を大切にし、多様なニーズに対応して家族の介護負担の軽減を図ります。 ・職員が働きやすい環境づくりに努めます。
運営の目標	① 利用者・家族のニーズに応じたサービスの提供 地域の高齢者が在宅生活を続けられるよう、利用者や家族の意向を踏まえ、その人らしさを尊重します。また、家族や介護支援専門員と情報交換を密に行い、健康状態の変化に対応した柔軟なチームケアを実践しながら、利用者本位のサービス提供を行います。 ② 健全な運営、稼働率の維持・向上 ・利用者や家族のニーズを把握し、介護支援専門員の計画に則ったサービス提供をすることで毎月の安定したサービス利用につなげます。 ・介護支援専門員と連携を密にし、家族の急病等による緊急のサービス利用にも早急に対応して受け入れを行います。 ・特養待機者の受け入れ空床の活用等、併設する特養との連携を大切にします。 ・多職種が密に連携して利用者の健康管理や事故防止に努め、健康で安全に過ごしていただく環境を整え、体調変化の早期発見、対応に努めます。 ・ショートステイの需要等を総合的に見極めながら30床での稼働を目指します。 ・特養の入院、退居枠を除くショートステイ稼働率を毎月 90%以上、特養の入院、退居枠を含むショートステイ稼働率を毎月85%以上の目標とします。 ③ 感染症の予防と蔓延防止に努め、感染症や災害発生時には業務が継続できる体制づくりや訓練を実施し、利用者や職員の安全を確保します。また、地域との協力・連携体制の整備に努めます。 (令和7年 2 月末までの実績稼働率 87.0%)
年間行事	・各ユニットで毎月行事を行うとともに、季節ごとに2ユニット合同で行事を行います。 ・かのとうホールを活用した全体行事及び家族や地域が参加できる行事を開催します。
職員研修	1. 職場内 OJT のさらなる充実を図ります。 2. 職員としての資質や専門性の向上のため、内部研修や職務に応じた外部研修への積極的な参加を支援します。 3. 職員が資格の重要性を認識し、資格取得に向けた研修に取り組めるよう参加を推奨し助言していきます。

第4はなの里 事業計画

◆ サービス付き高齢者向け住宅 百合ヒルズ（50名） ◆

基本方針	介護が必要となっても、サービスを利用しながら最期まで安心して暮らせる “終の棲家”となるような住まいを目指します。
運営の目標	① 新規入居者を確保するために、営業活動（施設検索サイトやホームページ、広告、広報紙の活用によるPR、居宅介護支援事業所、まちの保健室との情報交換）を実施し、満室を目標にスムーズな入居につなげます。 ② 併設の訪問介護事業所や小規模多機能施設等と連携して、その方の身体機能に合った適切な介護サービスを提案し、より安心できる環境を構築します。 ③ 交流施設を活用した行事を企画し、活気があり、楽しみのある生活となるように努めます。また、地域活動に協力し、地域住民や子どもたちとの交流を図ります。 ④ 感染症対策を行い、多職種と連携しながら健康に過ごせるよう努めます。
年間行事予定	【年間を通じた行事】 ・子どもたちとの交流 ・季節を感じられるイベント（新年祝賀・ひなまつり・夏祭り・クリスマス会 等） ・お楽しみ会（楽器演奏・ダンス・合唱・落語 等） ・季節ごとの行事食（新年・お花見・夏祭り・敬老の日・クリスマス 等） ・防災訓練（年2回） ・百合が丘自治会行事（スタンプラリー・ゆり坂清掃・市民センター祭り 等）への参加 ・百合が丘・青蓮寺自治協議会行事（クリスマスフェスタ）への参加 【継続的な事業】 ・定期的な体操や運動器具の使用により、無理のないように体を動かす機会を作ります。 ・移動販売による買い物を支援し、生活の楽しみを増やします。 ・卓球やオセロ、トランプ、将棋、囲碁、麻雀等の趣味を通じて入居者同士の交流を図る機会を支援します。
職員研修	・職員としての、資質向上及びモチベーション維持のため、必要とされている研修（感染防止対策、身体拘束廃止、事故・虐待防止 等）を受講します。 ・オンライン研修にも積極的に参加します。

◆ ヘルパーステーション ゆり ◆

基本方針	常に利用者の立場に立ち在宅で自立した日常生活を営むことができるように、365日利用者の生活を支えるために質の高いサービスを提供します。
運営の目標	① 利用者の生き方や価値観が尊重される日常生活を支援します。 ② 安心かつ安全に、現在の生活を維持・継続できるように満足して暮らしていただけるようにサポートします。 ③ 利用者及び家族との信頼関係を大切にします。 ④ 必要な方に必要な支援が提供できるように効率化を図りながら、居宅介護支援事業所と連携し、利用者の増加につなげます。 ⑤ 必要なサービスが継続的に提供できるように感染防止対策を徹底します。 ⑥ 第4はなの里に併設するサービス付き高齢者向け住宅百合ヒルズ及び小規模多機能ホームゆりと情報を共有・連携します。
年間行事予定	地域交流施設での各種イベントに積極的に参加します。
職員研修	① 訪問介護に従事する職員として資質向上及びモチベーション維持のため必要とされている研修をオンライン等活用しながら受講します。 ② 施設内研修・その他訪問介護員の資質向上に関する研修 ・毎月1回実施 サービス提供責任者が、具体的な援助目標及び援助内容を指示するとともに利用者の状況についての情報を共有し、サービス提供時の留意事項等を把握することを目的とします。 ・事業所内研修 毎月1回 サービス提供責任者による訪問介護員の技術指導を目的とします。 毎回テーマを設定し、適切な教材、人材を活用して実技を含めた技術指導を実施します。 ・個別研修 各職員年1回以上 専門性の高い人材を確保し、質の高いサービスを提供する体制を継続するため、各職員に合わせた研修内容を実施します。

第 5 はなの里 事業計画

● 特別養護老人ホーム (80 床) ●

基本方針	「心と心のかよい合う人の和」をサービスの基とし、入居者の尊厳を守るとともに一人ひとりの希望やニーズに応じた日常生活を支援し、その人らしく笑顔で安心して暮らしていただける施設をめざします。
運営の目標	① 気持ちのよい挨拶と心を込めた声掛けに努めます。 ② ケアプランをもとに一人ひとりの生活スタイルに沿った支援を行い、満足していただけるようなサービスを提供します。 ③ 季節感のある食事やおやつを提供し、食べる楽しみを感じていただけるよう工夫します。 ④ ICTや福祉用具を有効活用し、入居者・職員共に負担の少ない介護をめざし、業務の効率化に取り組みます。 ⑤ 各委員会を定期的に開催し、入居者が安心して楽しみのある時間が過ごせるよう努めます。 ⑥ 介護報酬の加減算を分析するとともに、入居申し込み者の現状の把握、病院の地域連携室、居宅介護支援事業所等との連携を密にして、入院や退居による空床期間短縮に努め、安定した事業運営を目指します。 ⑦ 入居者が安心して生活できるよう、住環境の整備や日常的な健康管理に留意して、手洗いや手指消毒を徹底し、感染症の予防と蔓延防止に努めます。 ⑧ 地域行事への参加やボランティアの受け入れを継続し、近隣住民との良好な関係の構築に努めます。 ⑨ 職員の働き方の多様性を広める為、週休3日制を積極的に取り入れます。
年間行事	・ 地域交流ロビーを使用した交流行事を継続し、入居者が楽しめる時間を作ります。 ・ 各ユニットやフロアごとに季節を感じられる行事を実施して他者との交流を図り、生活に変化を持たせます。

実習生 受入予定	福祉人材の育成も社会的使命と考え、感染予防対策を行ったうえ、各種養成機関等の要請に応じ実習生を受け入れます。
職員研修	1. 専門職としての知識・技術の向上を目指し、外部研修への積極的な参加を支援します。 2. 法人内研修への参加を勧めるとともに事業所内で定期的な勉強会を実施し、資質の向上を目指します。 3. ユニットリーダー研修への参加を支援し、適切なユニット運営に努めます。

● ショートステイ (20 床) ●

基本方針	利用者一人ひとりの生活を第一に考え、他職種や関連機関との連携を取りながら、サービスの提供に努めていきます。 利用者に安心してゆっくりと過ごしていただける雰囲気づくりを行い、家族の介護負担の軽減を図ります。
運営の目標	① 利用者一人ひとりの気持ちに寄り添った声掛け、言葉遣い、姿勢を意識したケアを日々心掛けます。 ② 利用者一人ひとりの日々の過ごし方、表情、ADLを把握し、体調等の変化にいち早く気付ける様に努めます。 ③ 居宅サービス計画に基づき、利用者一人ひとりの生活課題や個々の目標を取り入れたサービスの提供を心がけます。 ④ 居室での面会を通じて利用者の日常生活の様子を家族に感じてもらいます。 ⑤ BCP や感染症の研修・訓練を定期的実施し安心、安全な運営に努めます。 ⑥ 外出を伴う行事やイベントを計画し季節感や楽しさを感じてもらい、日常生活に生きがいをもてるよう支援します。 ⑦ ショートステイの需要や職員状況等を総合的に判断し、現在閉鎖中の20床の早期再開に取り組みます。 ⑧ 特養の入院・退居枠を含めたショートステイの稼働率毎月 85%以上、年間平均 85%以上の達成を目標とします。 (令和 7 年 2 月末までの実績稼働率 78.8%)

年間行事	○ 特養と連携し季節感を感じられる行事を計画します。また、ボランティアや外部の団体も積極的に受け入れ地域との交流を図ります。 ○ ショートステイの生活の中でも、自分らしさを持って頂ける様なレクリエーション・健康体操を日々の生活の中に取り入れていきます。
実習生 受入予定	福祉人材の育成も社会的使命と考え、感染予防対策を行ったうえ、各種養成機関等の要請に応じ実習生を受け入れます。
職員研修	1. 専門職としての知識・技術の向上を目指し、外部研修への積極的な参加を支援します。 2. 法人内研修への参加を促すとともに事業所内で定期的な勉強会を実施し、資質の向上を目指します。 3. ユニットリーダー研修への参加を支援し、適切なユニット運営に努めます。

障害者支援施設はなの里 事業計画

施設入所支援(20床)・ショートステイ(2床)・生活介護(28名)

基本方針	～ 互いの言葉 互いの心で 互いに笑顔 ～ ～ 自ら考え 自ら学び 自ら実践 ～
運営の目標	① 安心、安全、快適に暮らせるよう、施設環境を継続整備します。 ② 法令を遵守し、虐待等の人権侵害を防止します。 虐待防止・権利擁護研修 年 1 回 虐待防止職員セルフチェック 年 1 回 ③ 感染症対策と疾病予防、早期治療により健康維持に努めます。 ④ 地域移行・介護保険への移行希望者支援 市町及び他事業所等と連携を図りながら、実現に向けて努めます。 ⑤ 生活介護・短期入所利用者を確保しながら、施設運営に努めます。 令和 7 年度目標(年間累計) 生活介護 5,700 人、短期入所 500 人 ⑥ 利用者の要望・選択に応え、日中活動の多様化、地域交流の充実に努めます。 ⑦ 働きやすい職場環境を整備します。 介護機器、介護ロボット・ICT の活用により職員の腰痛予防や職場環境整備など業務改善にも積極的に取り組み、介護負担の軽減とサービスの質の向上を前提とした業務の効率化を図ります ⑧ 防災、防犯に対する意識の向上に努めます。 避難訓練(地震・火災・風水害・防犯)の実施 防災・防犯に関する研修等への参加 ⑨ 質の高いサービスを提供するために、職員の資質向上、育成を目指します。 ⑩ 外食、外出及び個別外出支援の機会を増やし、利用者一人ひとりに楽しみや希望のある生活を提供します。
年間行事予定	〈対象者:施設入所支援〉 誕生日特別食 外食支援 遠足 個別外出支援 〈対象者:生活介護〉 誕生日特別食 外食支援 〈ボランティア事業〉 喫茶「花ごよみ」 ○レクリエーション活動 書道 絵画 カラオケ 調理 お菓子作り 音楽療法等 ○月別行事 4・5・6 月 お花見ドライブ・外食ツアー 7 月 夏祭り 8 月 流しそうめん 9 月 敬老祝賀会(施設全体行事) 10・11 月 外食ツアー、バーベキュー 12 月 クリスマス&年忘れ会 1 月 新年祝賀会(施設全体行事) 2 月 節分 (その他) 名張市障害者スポーツ大会、肢体不自由者の美術展作品応募等

実習生 受入予定	希望者があれば随時受け入れます。
職員研修	事業の役割の重要性を認識し、支援者として適切な対応ができるよう各種研修に積極的に参加します。 ・ 名張市地域共生デザイン会議が開催する会議、研修会 ・ 三重県、県社会福祉協議会主催の各種研修 ・ 近畿地区身体障害者施設協議会の各委員会、協議会が開催する会議、研修 ・ 法人内研修（喀痰吸引実施研修含む） ・ 障害者総合支援法に関する研修及び職員の資質向上に関する研修 ・ 資格取得に向けた啓発や助言、指導、勤務調整等により職員を支援 ・ 介護ロボットや ICT 機器の研修や説明会

グループホームはなの里 事業計画 (18 床)

基本方針	『笑顔・尊重・安心感』をモットーに明るくアットホームなグループホームをめざします。																										
運営の目標	① 地域密着型サービスの施設として、家庭的な雰囲気を大切にします。 ② 地域との交流の機会を確保します。 ③ 人として尊重し、その立場に立った支援(パーソン・センタード・ケア)に努めます。 ④ 家族の思いを受け止め、信頼と安心感のある関係の構築に努めます。 ⑤ 寄り添いのケアで「安心」「癒し」「安らぎ」を提供します。 ⑥ 職員が得意分野も活かして、生き生きと働ける職場環境づくりに努めます。																										
年間行事予定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th><th>行 事</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>・お花見</td></tr> <tr><td>5</td><td>・運営推進会議</td></tr> <tr><td>6</td><td>・あじさい祭り・美化点検</td></tr> <tr><td>7</td><td>・七夕会・運営推進会議</td></tr> <tr><td>8</td><td>・夕涼み会・花火大会</td></tr> <tr><td>9</td><td>・運営推進会議</td></tr> <tr><td>10</td><td>・運動会・避難訓練・外食ツアー・外部評価</td></tr> <tr><td>11</td><td>・紅葉ツアー・運営推進会議・美化点検</td></tr> <tr><td>12</td><td>・クリスマス会・年末大掃除</td></tr> <tr><td>1</td><td>・初詣・運営推進会議</td></tr> <tr><td>2</td><td>・節分豆まき</td></tr> <tr><td>3</td><td>・ひな祭り・避難訓練・運営推進会議</td></tr> </tbody> </table> 《その他》 ・ボランティアの受け入れ・地域行事への参加・お誕生日会 ・音楽療法 2 回／月実施・西田原こども園、ききょうこども園との相互訪問	月	行 事	4	・お花見	5	・運営推進会議	6	・あじさい祭り・美化点検	7	・七夕会・運営推進会議	8	・夕涼み会・花火大会	9	・運営推進会議	10	・運動会・避難訓練・外食ツアー・外部評価	11	・紅葉ツアー・運営推進会議・美化点検	12	・クリスマス会・年末大掃除	1	・初詣・運営推進会議	2	・節分豆まき	3	・ひな祭り・避難訓練・運営推進会議
月	行 事																										
4	・お花見																										
5	・運営推進会議																										
6	・あじさい祭り・美化点検																										
7	・七夕会・運営推進会議																										
8	・夕涼み会・花火大会																										
9	・運営推進会議																										
10	・運動会・避難訓練・外食ツアー・外部評価																										
11	・紅葉ツアー・運営推進会議・美化点検																										
12	・クリスマス会・年末大掃除																										
1	・初詣・運営推進会議																										
2	・節分豆まき																										
3	・ひな祭り・避難訓練・運営推進会議																										
職員研修	・認知症介護実践者等養成事業研修 ・三重県社会福祉協議会主催の研修 ・名張市地域包括支援センター主催の研修 ・名張市在宅医療支援センター研修 ・三重県立こころの医療センター主催の研修 ・研修委員会主催の内部研修 ・リモート研修への積極的参加 ・その他職員の資質向上に必要な研修																										

グループホーム 新 事業計画 (18 床)

基本方針	『喜怒哀楽を大切に』を理念とし、 家庭的な雰囲気の中で、安心感のある生活の場を提供します。
運営の目標	・『喜怒哀楽』を大切に、そのひとらしさを尊重した支援をします。 ・地域の活動に参加し交流の機会を持つようにします。 ・心身の健康維持のため個々の状態把握に努め、気付きを大切にします。 ・清潔で安全な環境、快適で家庭的な空間づくりに努めます。 ・職員が生き生きと働ける職場環境づくりを行います。 ・資格取得の推進など、職員の専門性を高め、さらなるサービスの向上に努めます。
年間行事予定	○季節の行事等 ・初詣 ・節分 ・お花見 ・ドライブ ・祭り ・運動会 ・クリスマス会 ・お誕生日会 ・おやつ作り ・創作活動 ・お鍋の日 ・季節の行事食 ・戸外でのお茶会 ・園芸福祉 ・音楽療法 ・買物 ・外食 ・地域の催し物への参加 ・西田原こども園園児との交流 ・家族交流会 ○その他 ・避難訓練(年2回) ・運営推進会議の開催(2か月に1回) ・外部評価の受審
職員研修	・認知症介護実践者養成研修や地域包括支援センター等が主催する研修など職務に応じた研修に参加し専門性の向上に努めます。 ・職員の資質向上のため、法人内研修やオンライン研修を中心とした外部研修への参加を支援します。

多機能ホーム 事業計画

■ 多機能ホームはなの里 （登録 29 人 通所 15 人 宿泊 5 人） ■

基本方針	・穏やかな気持ちで利用者と接し、笑顔が人から人へ広がるようなかわり方をめざします。 ・心身ともにリフレッシュできる、居心地のよい時間と場をつくります。 ・地域の中で生活している、ということが意識できるサービスの提案をします。
運営の目標	① 地域密着型事業として、利用者が地域とのつながりを感じられるような活動を行います。 ② ケアの質の向上のために、定期的な職員の研修を実施します。 ③ 適切な人員配置と業務の合理化を図り、収支バランスの向上に努めます。
年間行事予定	<u>施設全体行事</u> ・新年祝賀会 ・夏祭り ・ボランティアによる訪問 <u>多機能ホーム行事</u> 季節行事として ・初詣 ・新年会 ・節分行事 ・ひな祭り ・お花見 ・新緑ドライブ ・七夕 ・敬老祝賀会 ・運動会 ・秋祭り ・紅葉ドライブ ・クリスマス会 ・個別外出支援 ・さつまいも畑などの園芸活動 ・忘年会 ・焼き芋大会 ・寿司パーティ <u>適時実施行事</u> ・買い物 ・お誕生日会 ・おやつ作り ・西田原こども園へのプレゼント制作 ・中庭を活用した余暇活動 ・足湯 ・ハンドマッサージ&ネイル ☆運営推進会議の開催（2 カ月に 1 回） ☆避難訓練の実施（年に 2 回）
職員研修	(法人内研修) ・研修委員会が開催する研修 (事業所内研修…OJT 含む) ・基本的な介護技術の研修（移乗介助等） ・接遇研修 ・BCP 研修 ・虐待、身体拘束防止研修 (外部研修) 介護職員の資質向上(認知症ケア等)に必要な研修

■ 多機能ホームゆり （登録 29 人 通所 15 人 宿泊 5 人） ■

基本方針	・心身ともにリフレッシュできる、居心地のよい時間と場をつくります。 ・在宅での生活が長く継続できるように、その人に合った柔軟な支援を行います。
運営の目標	① 地域密着型事業として、利用者が地域とのつながりを感じられるような活動を行います。 ② ケアの質の向上のために、定期的に職員の勉強会を行います。 ③ 併設のサービス付き高齢者向け住宅との連携を行い、必要な支援が途切れることなく提供されるようサポート体制を築きます。 ④ 地域資源を効果的に活用し、利用者の状態に応じた支援を行います。 ⑤ 適切な人員配置と業務の合理化を図り、収支バランスの向上に努めます。
年間行事予定	<u>多機能ホーム行事</u> 季節ごとの行事 (お正月・ひな祭り・お花見・敬老祝賀会・紅葉ドライブ・クリスマス会等) <u>適時実施行事</u> ・買い物 ・お誕生日会 ・おやつ作り ・ボランティア制度の活用 ・地域主催の催し物への参加 ・サービス付き高齢者向け住宅「百合ヒルズ」に併設した交流施設の各種イベントや教室にも積極的に参加します。(交流施設事業との調整を図ります。)
職員研修	・利用者の状況を職員間で共有できるように毎月 1 回ケア会議を行います。 ・3 ヶ月に 1 回、小規模多機能型居宅介護連絡会議、小規模多機能ケアマネ会議に参加し他法人との連絡、連携を図ります。 (事業所内研修) ・基本的な介護技術、接遇マナー、医療的な知識、身体拘束及び虐待防止、感染症予防、BCP等の勉強会を行い、個々のケアや知識の向上を図ります。 (外部研修) ・オンライン研修にて介護職員の資質向上(認知症ケア等)に必要な研修,市町村が実施する在宅医療、介護連携推進事業等の地域支援事業等に参加します。 - その他、法人全体研修に積極的に参加します。

老人デイサービスつつじが丘 事業計画

(30名)

基本方針	「一人ひとりの意思を尊重しながら利用者の在宅生活を支援するとともに、利用者職員が一緒に喜びを見出し、心身の健康を保つための空間づくりに努めます」
運営の目標	① 利用者一人ひとりに合った支援を行い、利用者が安全に安心して利用できるサービスの提供に努めるとともに、家族の介護負担の軽減を図ります。 ② 運動機器を利用した運動や全体体操、レクリエーション、音楽療法、脳トレプリントなど認知症予防のための取り組みにより、利用者の心身機能の維持・向上に努めます。 ③ 季節ごとの行事や創作活動の機会を通して楽しみを持つとともに、利用者間の交流が深まるような環境づくりに努めます。 ④ 各居宅介護支援事業所や家族と綿密に連絡を取ることで、利用者や家族のニーズ・思いを十分に踏まえたサービスの提供に努めます。互いに信頼関係を構築することで新規利用者の受け入れを適切に行い、収益アップを図ります。 ⑤ 稼働率 80%以上を維持し、1日平均利用者数18名、月平均利用者数350名を目標として健全な運営体制を整えるよう取り組みます。 ⑥ 地域に根差したサービスを推進していくために、地域の自治会等にアプローチし、自治会での地域活動(清掃活動等)があれば可能な限り参加していきます。
年間行事予定	○季節に応じた行事(夏祭り、運動会、クリスマス会、花見や紅葉ドライブ等) ○音楽療法(月3回) ○創作活動 ○地域ボランティアとの交流
実習生 受入予定	各種養成機関等の要請があれば、法人の規程に従って感染症対策を行いながら実習生等の受け入れを行います。
職員研修	○日々の利用者との関わりの中からケアの向上・スキルアップのヒントを見出し、互いに意見を出し合って話し合う機会を毎日設け、新しい取り組みに繋がります。 ○職員の資格取得を奨励し、資質向上やモチベーション維持のため、法人内外の研修にも積極的に参加します。

グループホームつつじが丘 サテライト 事業計画

(9名)

基本方針	『ともに笑い ともに生きる』
運営の目標	① 関係機関との連携を強化し、利用者、家族のニーズを把握のうえ安定した待機者確保に努めます。 ② 利用者及び家族のニーズに沿った介護計画書を作成し、それに基づいた円滑な介護支援を行います。 ③ 地域との関わりを大事にし、地域行事等にも積極的に参加していきます。 ④ 家族と職員の連携を密にし、家族との信頼と安心をより強化させていきます。 ⑤ 家族的な安心感と雰囲気作りにより生活意欲を高めて頂き、日々の生活の中においても認知症の進行を緩和するように努めます。 ⑥ 利用者・上司・職員間のコミュニケーションを積極的に図っていき、働きやすい職場環境整備に努めます。 ⑦ 利用者の尊厳を保ちながら安心感を持って生活してもらえる様に支援します。 ⑧ パワハラ、セクハラ等の各種ハラスメントを発生させない様、職員同志、尊重し合う職場作りに努めます。
年間行事予定	○季節ごとの行事 ・初詣、節分行事、お花見、地域の夏祭り、夕涼み会、地域の文化祭、紅葉ドライブ等 ○お楽しみ行事 ・買い物、外食、誕生日会、創作活動、お鍋の日、おやつ作り等 ○家族との交流 ・敬老の日等、可能な範囲で行事に参加して頂く。 ・施設運営の理解を得るため、「グループホームつつじが丘だより」を毎月発行する。 ○地域との交流 ・地域の行事には積極的に参加する。(地域の夏祭り、文化祭、認知症カフェ等) ○法的に必要とされる行事 ・運営推進会議開催(隔月)、避難訓練の実施(年2回)、介護相談員の受け入れ等 ・GHつつじが丘身体拘束廃止・虐待・事故防止対策会議(3か月毎) ・外部評価の受審
職員研修	○医療的知識と救急処置等の研修 ……連携している看護師による講習 (AED使用方法と応急処置・感染症対策等) ○介護技術と意識・資質の向上研修 ……法人内外で開催される各分野の研修へ積極的に参加

認定こども園 事業計画

西田原こども園 (105 名)

基本方針	園理念 みんなで 創ろう つながろう 人の輪 心の和 子どもの笑顔が みたいから 教育・保育目標 ○豊かな感性で遊び込み、心も体も健やかな子ども ○感謝の気持ちと思いやりのある子ども ○なぜ、どうして、知りたい・やってみたいの気持ちをもち学びに向かう子ども																																						
運営の目標	① 認定こども園となり教育と保育を一体的に行う環境を整え、いろいろな体験やあそびを通して興味・関心を広げ、学びの基盤となる好奇心や探求心を育みます。 ② 「なくてはならない園」をめざし、新たな教育と保育に挑戦します。 ・立地環境を活かした自然体験の機会を積極的に取り入れ、主体的・意欲的な学びへとつなげます。 ・交流保育(異年齢、世代間、地域など)を通して社会性の芽生えを促し、思いやりや感謝の心を育みます。 ③ 多様化する子育て家庭のニーズに合わせ、子育て支援の量や質を向上させ、つながりを大切にする地域性を活かした協働的な支援を行います。 ④ 地域に開かれた施設として保育の専門性や経験を活かし、子育て家庭の支援に努めます。 ⑤ 新たな環境における非常時の対応や子どもへの安全教育を周知徹底し日々の生活や避難訓練の中での課題は速やかに話し合い、改善して安全管理を強化します。 ⑥ ICT をより有効に活用し保育の見える化を進めることにより保護者と共に子どもの育ちを支えます。また、職員間の速やかな情報共有や子どもと向き合う時間の充実につなげます。 ⑦ 互いに認め合いながら一人ひとりが能力や個性を発揮し、やりがいをもって生き生きと働ける職場づくりに努めます。																																						
年間行事計画	<table><tr><td>4 月</td><td>はじまりのつどい</td><td>内科健診 尿検査</td></tr><tr><td>5 月</td><td>春の遠足(幼児) 夏野菜植え</td><td>歯科健診</td></tr><tr><td>6 月</td><td>個人懇談 あじさい遠足(弥勒寺)</td><td>5 歳児健診(4 歳児)</td></tr><tr><td>7 月</td><td>七夕お楽しみ会 プール遊び開始 プール参観</td><td></td></tr><tr><td>8 月</td><td>平和学習会 夏まつり</td><td></td></tr><tr><td>9 月</td><td></td><td>視力検査(5 歳児)</td></tr><tr><td>10 月</td><td>運動会 秋の遠足(幼児)</td><td>内科健診</td></tr><tr><td>11 月</td><td>焼いも</td><td>5 歳児健診(4 歳児)</td></tr><tr><td>12 月</td><td>冬のお楽しみ会</td><td></td></tr><tr><td>1 月</td><td>修了記念写真</td><td></td></tr><tr><td>2 月</td><td></td><td>視力検査(4 歳児)</td></tr><tr><td>3 月</td><td>入園説明会 お別れ会 卒園式</td><td></td></tr></table>			4 月	はじまりのつどい	内科健診 尿検査	5 月	春の遠足(幼児) 夏野菜植え	歯科健診	6 月	個人懇談 あじさい遠足(弥勒寺)	5 歳児健診(4 歳児)	7 月	七夕お楽しみ会 プール遊び開始 プール参観		8 月	平和学習会 夏まつり		9 月		視力検査(5 歳児)	10 月	運動会 秋の遠足(幼児)	内科健診	11 月	焼いも	5 歳児健診(4 歳児)	12 月	冬のお楽しみ会		1 月	修了記念写真		2 月		視力検査(4 歳児)	3 月	入園説明会 お別れ会 卒園式	
4 月	はじまりのつどい	内科健診 尿検査																																					
5 月	春の遠足(幼児) 夏野菜植え	歯科健診																																					
6 月	個人懇談 あじさい遠足(弥勒寺)	5 歳児健診(4 歳児)																																					
7 月	七夕お楽しみ会 プール遊び開始 プール参観																																						
8 月	平和学習会 夏まつり																																						
9 月		視力検査(5 歳児)																																					
10 月	運動会 秋の遠足(幼児)	内科健診																																					
11 月	焼いも	5 歳児健診(4 歳児)																																					
12 月	冬のお楽しみ会																																						
1 月	修了記念写真																																						
2 月		視力検査(4 歳児)																																					
3 月	入園説明会 お別れ会 卒園式																																						

年間行事計画	《その他》 避難訓練 身体計測 サッカー教室 運動あそび教室 絵画教室 《保護者参加》 クラス懇談会 保育参観 プール自由参観 《地域交流》 高齢者施設「はなの里」訪問 野菜の苗植え 焼いも 《子育て支援》 講師によるお話し会(年２回) 親子運動あそび(隔月) 子育てサークルとの交流 こども園体験入園(毎月７日・８日) のんびり読書タイム(毎週火曜日) はなはな広場(毎月第２火曜日) 育児相談日(毎月第３火曜日) 離乳食相談 一時預かり事業(随時) 《小学校接続》 ばりっこピカピカ小１学級（年４回） 学校見学 小学校との交流(ZOOM 交流、授業体験、校長先生とのお話し)
実習生 受入予定	高田短期大学(11月1名) 中学生職場体験(北中学校・桔梗が丘中学校より)・名張高等学校インターンシップ ※保育教諭の仕事の魅力を伝え、人材確保につながるような実習生を積極的に受け入れる。
職員研修	※ 研修責任者、研修委員を中心として専門性を高める研修を計画、実施 ※ 園外研修やオンライン研修により、個々のスキルアップをめざし教育・保育実践につなげる。 ◎園内研修 ・階層別研修・安全対策研修・危機管理研修・BCP研修・食育研修・身体づくり研修 ・人権同和保育研修・個別支援研修・教育、保育課程によるカリキュラム検討及び研修 ・教育保育環境研修・伝達研修・虐待防止研修・性虐待研修・コドモンカレッジ動画研 修 ・ICT活用研修 ◎園外研修 ・名張市主催の研修会(保育幼稚園室・教育センター・発達支援センター・人権センター等) ・国・県・県社会福祉協議会・県保育士団体・県人権センター主催の研修会 ・キャリアアップ研修

❖ ききょうこども園 (150名) ❖

基本方針	《園理念》 みんなで 創ろう つながろう 人の輪 心の和 子どもの笑顔が みたいから 《教育・保育目標》 ・豊かな感性で遊び込み、心も体も健やかな子ども ・感謝の気持ちと思いやりのある子ども ・“なぜ”“どうして”“知りたい・やってみたい”の気持ちをもち学びに向かう子ども																																						
運営の目標	① 認定こども園となり、教育と保育を一体的に行う環境を整え、子どもが主体的に遊び、異年齢活動や集団活動から、豊かな感性、好奇心、探求心を育みます。 ② 地域に開かれた施設として、保育の専門性や経験を活かし、子育て家庭の支援に努めます。 ③ 保護者の思いや悩みを傾聴、共感し、信頼と安心につながる関係を築き、支援を行います。 ④ ICTを活用し、より保護者との連携を図りながら、効率的な事務作業に努めます。 ⑤ あらゆる災害に向けて、避難訓練や防災教育を行い、自分自身を守る防災意識を養います。また、職員は安全管理研修を重ね、非常時に迅速で冷静な判断を行い、状況に応じた柔軟な対応ができるよう意識向上に努めます。 ⑥ 互いに認め合いながら、一人ひとりが能力や個性を発揮し、やりがいをもって生き生きと働ける職場づくりに努めます。																																						
年間行事計画	<table><tr><td>4月</td><td>はじまりのつどい 保護者会総会(書類対応)</td><td>内科健診 尿検査</td></tr><tr><td>5月</td><td>春の遠足(幼児) 夏野菜植え 歯磨き指導</td><td>歯科健診</td></tr><tr><td>6月</td><td>個人懇談(乳児) 歯みがき指導(幼児)</td><td>5歳児健診(4歳児)</td></tr><tr><td>7月</td><td>七夕お楽しみ会 プール遊び開始 個人懇談(幼児)</td><td></td></tr><tr><td>8月</td><td>平和学習会</td><td></td></tr><tr><td>9月</td><td>すくすくあそぼう会</td><td></td></tr><tr><td>10月</td><td>運動会 秋の遠足(幼児)</td><td>内科健診 5歳児健診(4歳児)</td></tr><tr><td>11月</td><td>焼き芋</td><td>視力検査(5歳児)</td></tr><tr><td>12月</td><td>冬のお楽しみ会</td><td></td></tr><tr><td>1月</td><td>修了記念写真</td><td></td></tr><tr><td>2月</td><td></td><td>視力検査(4歳児)</td></tr><tr><td>3月</td><td>入園説明会 お別れ会 卒園式</td><td></td></tr></table> (その他) 避難訓練・身体計測・はなはな広場(第3水曜日) サッカー教室・絵画教室(レインボータイム)・運動あそび教室(ばりっこ教室) (保護者参加) 運動会・クラス懇談会・保育参観・プール自由参観・夏まつり すくすくあそぼう会(乳児)・親子遠足 (地域交流) 地域の方や市民センターとの交流・はなの里利用高齢者との交流・焼き芋 (小学校接続 5歳児) 小学校接続カリキュラム授業参加(ばりっこピカピカ小1学級) 学校見学、小学1年生との交流 (子育て支援) 他施設との交流・子育てサークルとの交流・おでかけ保育・こども園体験入園 絵本の貸し出し・離乳食相談・育児相談・一時預かり			4月	はじまりのつどい 保護者会総会(書類対応)	内科健診 尿検査	5月	春の遠足(幼児) 夏野菜植え 歯磨き指導	歯科健診	6月	個人懇談(乳児) 歯みがき指導(幼児)	5歳児健診(4歳児)	7月	七夕お楽しみ会 プール遊び開始 個人懇談(幼児)		8月	平和学習会		9月	すくすくあそぼう会		10月	運動会 秋の遠足(幼児)	内科健診 5歳児健診(4歳児)	11月	焼き芋	視力検査(5歳児)	12月	冬のお楽しみ会		1月	修了記念写真		2月		視力検査(4歳児)	3月	入園説明会 お別れ会 卒園式	
4月	はじまりのつどい 保護者会総会(書類対応)	内科健診 尿検査																																					
5月	春の遠足(幼児) 夏野菜植え 歯磨き指導	歯科健診																																					
6月	個人懇談(乳児) 歯みがき指導(幼児)	5歳児健診(4歳児)																																					
7月	七夕お楽しみ会 プール遊び開始 個人懇談(幼児)																																						
8月	平和学習会																																						
9月	すくすくあそぼう会																																						
10月	運動会 秋の遠足(幼児)	内科健診 5歳児健診(4歳児)																																					
11月	焼き芋	視力検査(5歳児)																																					
12月	冬のお楽しみ会																																						
1月	修了記念写真																																						
2月		視力検査(4歳児)																																					
3月	入園説明会 お別れ会 卒園式																																						

実習生 受入予定	中学生職場体験(名張中学校・南中学校・桔梗が丘中学校より)・名張市立看護専門学校 関西女子短期大学(7月3名)・畿央大学(8月1名) ※保育教諭の仕事の魅力を伝え、人材確保につながるような実習生を積極的に受け入れる。
職員研修	※ 研修責任者、研修委員を中心として専門性を高める研修を計画、実施 ※ 個々のスキルアップにつながるよう、園外研修や自己研修などの学びを取り入れた 園内研修の実施 ◎園内研修 ・『子ども理解』に対する基本かつ専門性を高める継続的研修 ・課題に取り組み相互の学びを深めあえる、担当別研修、階層別研修 ・危機管理研修・伝達研修・食育研修・虐待防止研修・性加害研修・家庭支援研修 ・人権同和保育・個別支援研修・保育課程によるカリキュラム検討及び研修 ・教育保育環境研修・BCP研修 ◎園外研修 ・名張市主催の研修会 (保育幼稚園室・教育センター・発達支援センター・人権センター) ・国・県・県社会福祉協議会・県保育士団体・県人権センター主催の研修会 ・キャリアアップ研修